

令和3年度 社団法人  
岐阜県臨床検査技師会 精度管理報告会

# 細胞診研究班精度管理調査結果報告

---

細胞検査

吉村 昌昭（中津川市民病院）



## 【はじめに】

細胞検査における精度管理調査は、日々のスクリーニング作業において誤判定を起こさないよう、自施設の判定基準が他施設と十分な同一性を保持しているかを確認することを目的としている。

令和3年度の精度管理調査はフォトサーベイ10問とした。

# 精度管理調査結果報告(細胞検査)

【参加施設数】25施設

## 【出題症例】

設問1	40歳代	女性	子宮頸部擦過	NILM:トリコモナス感染
設問2	60歳代	女性	子宮頸部擦過	HSIL:上皮内癌
設問3	70歳代	女性	子宮体部擦過	内膜腺癌(G3)
設問4	70歳代	女性	経気管支生検捺印	非角化型扁平上皮癌
設問5	60歳代	女性	経気管支生検捺印	小細胞癌
設問6	70歳代	女性	胸水	腺癌
設問7	60歳代	男性	乳腺穿刺吸引	硬癌
設問8	60歳代	女性	膵穿刺	腺癌
設問9	50歳代	男性	甲状腺穿刺吸引	濾胞性腫瘍
設問10	60歳代	男性	陰嚢水	セミノーマ

## 訂正

訂正です。

設問3の選択肢において

3. 内膜腺癌G3、4. 明細胞腺癌と記載しましたが、子宮体癌取扱い規約(第4版)では腺癌の記載がありません。

以下のように訂正いたします。

3.内膜腺癌G3→3.類内膜癌G3

4.明細胞腺癌→4.明細胞癌

訂正してお詫び申し上げます。

申し訳ありませんでした。

※今回の解説では設問3は訂正前のままにしてあります。

# 設問1

年齢・性別:40歳代 女性

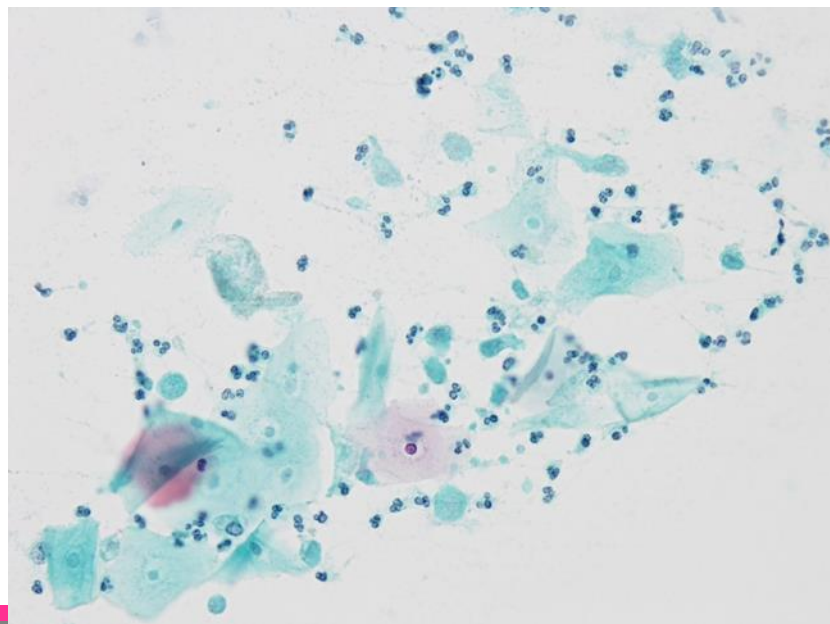
検体 :子宮頸部擦過(サイトブラシ)

臨床所見 :健診

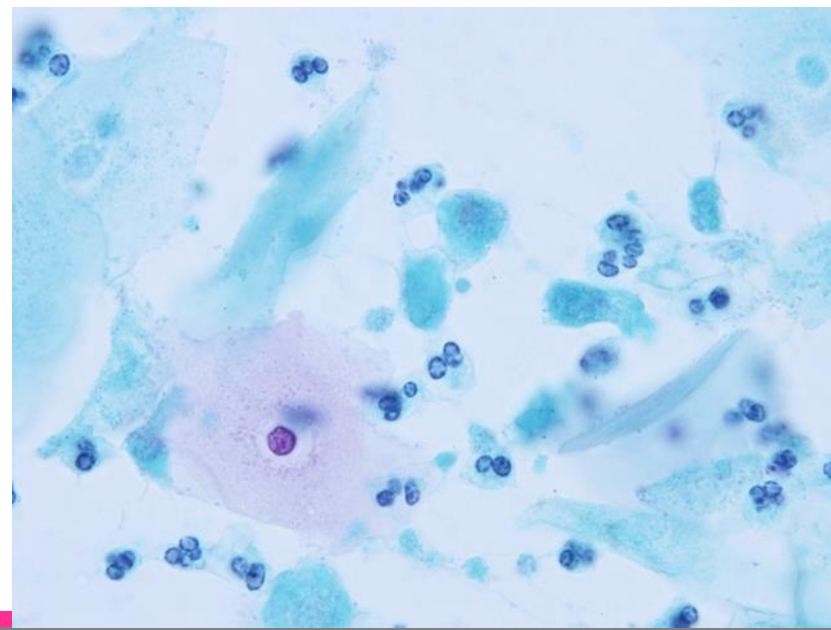
写真 :1-1 Pap×40 1-2 Pap×100

1. NILM:トリコモナス感染
2. LSIL:軽度異形成
3. HSIL:高度異形成
4. SCC:扁平上皮癌
5. その他

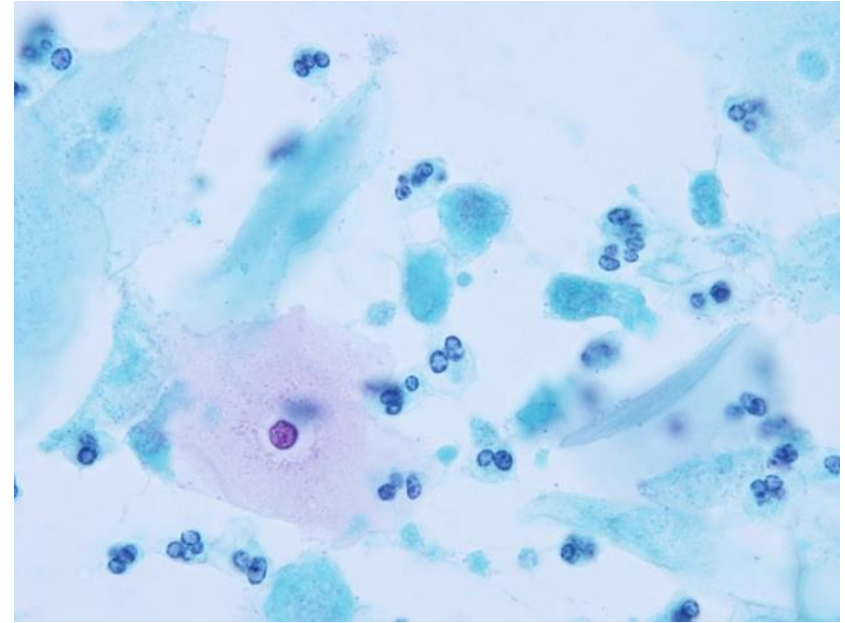
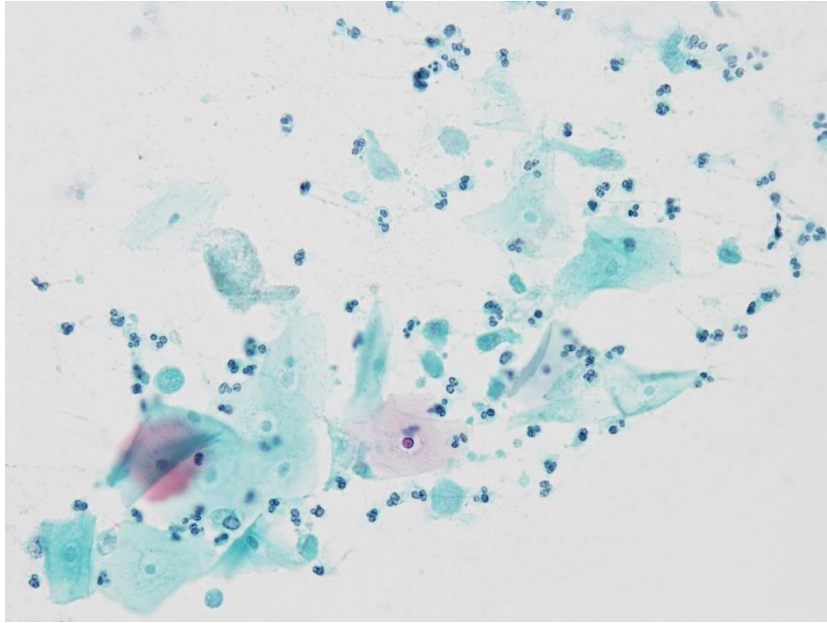
1-1



1-2



# 設問1



正解 :1. NILM:トリコモナス感染

他解答:なし

正解率:100%(25/25施設)

炎症所見を示す背景に淡灰色のトリコモナスの原虫を認める。



## 設問2

年齢・性別 : 60歳代 女性

検体 : 子宮頸部擦過(サイトブラシ)

臨床所見 : 不正出血

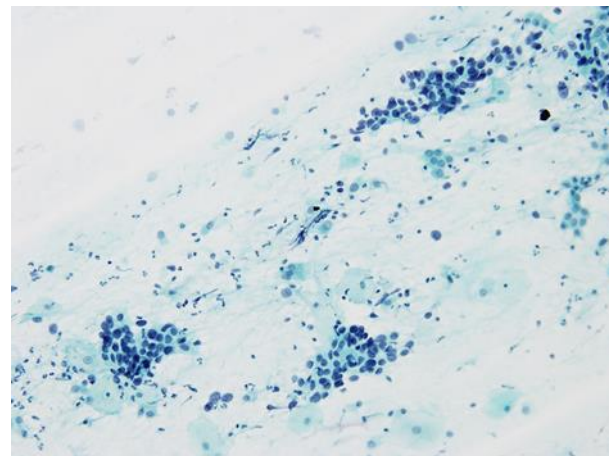
写真 : 2-1 Pap × 20 2-2 Pap × 40  
2-3 Pap × 100 2-4 Pap × 100

1. NILM: 萎縮性膣炎

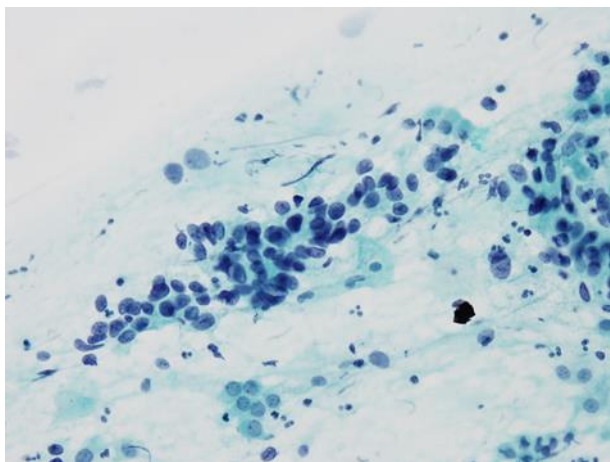
2. LSIL: 軽度異形成 3. HSIL: 上皮内癌

4. adeno: 腺癌 5. その他

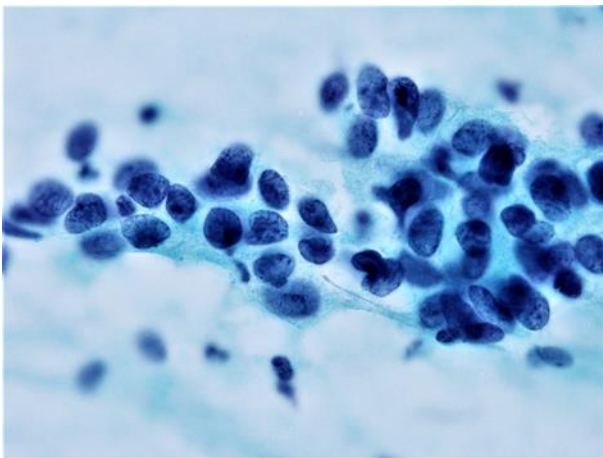
2-1



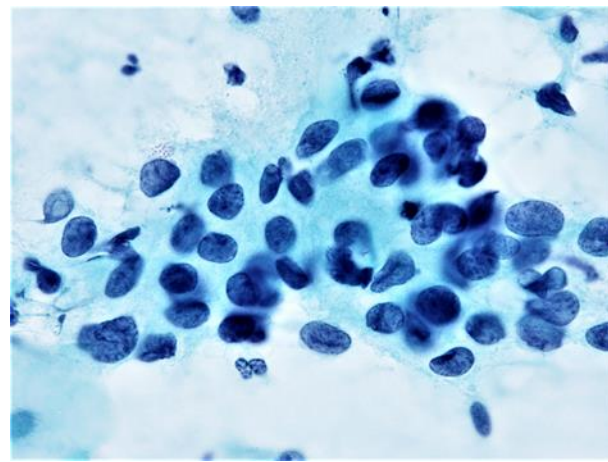
2-2



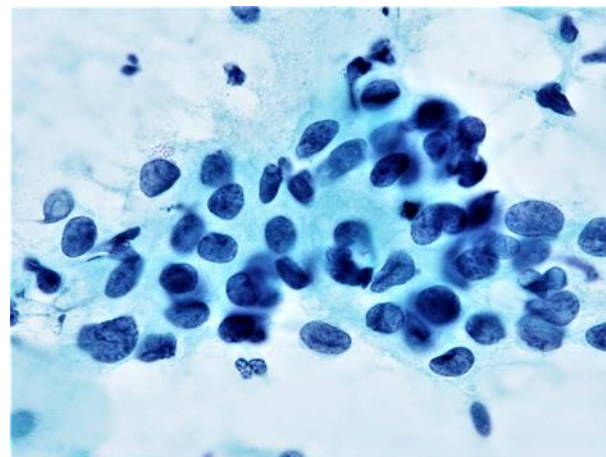
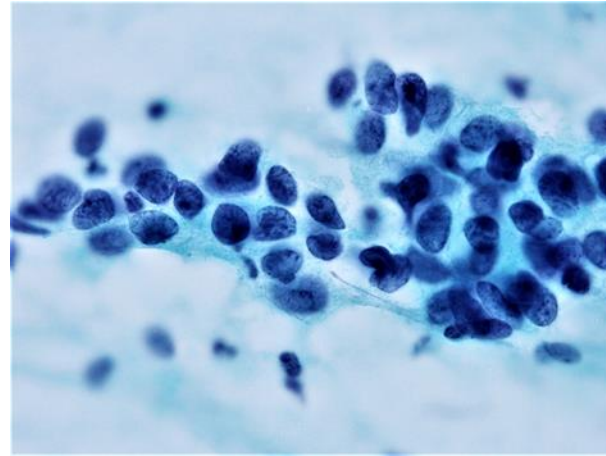
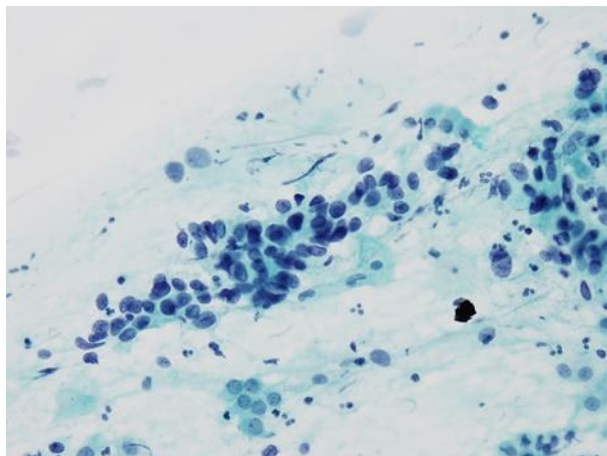
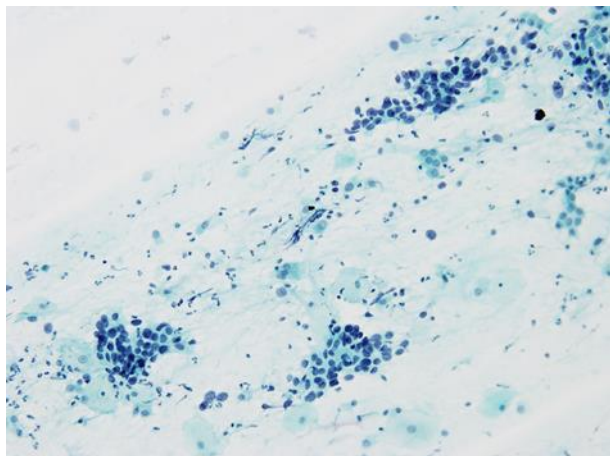
2-3



2-4



## 設問2



正解 : 3. HSIL: 上皮内癌

他解答: 4. adeno: 腺癌

正解率: 96% (24/25施設)

傍基底扁平上皮細胞と思われる細胞が主体の像で、N/C比が80%を超えた異型細胞や裸核状で緊満感みられる細胞も認める。クロマチンは微細顆粒状～粗顆粒状に増量している。

HSIL、上皮内癌です。



## 設問3

年齢・性別 : 70歳代 女性

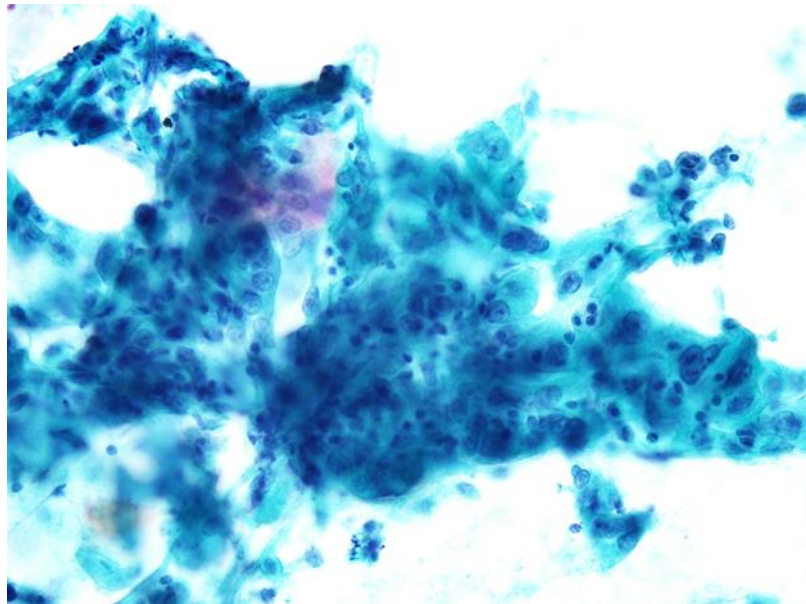
検体 : 子宮体部擦過(エンドサイト)

臨床所見 : 不正出血持続、内膜肥厚

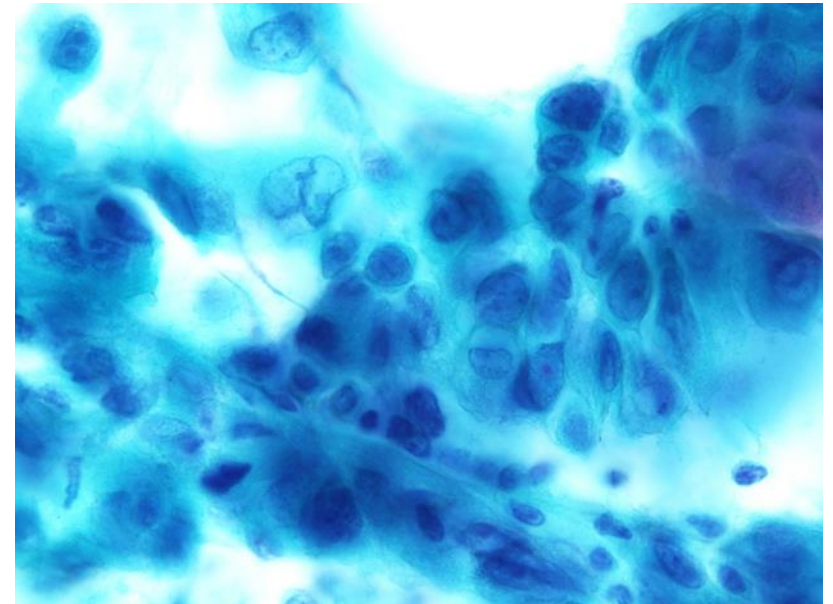
写真 : 3-1 Pap × 40 3-2 Pap × 100

1. 月経期子宮内膜細胞
2. 子宮内膜増殖症
3. 内膜腺癌(G3)
4. 明細胞腺癌
5. その他

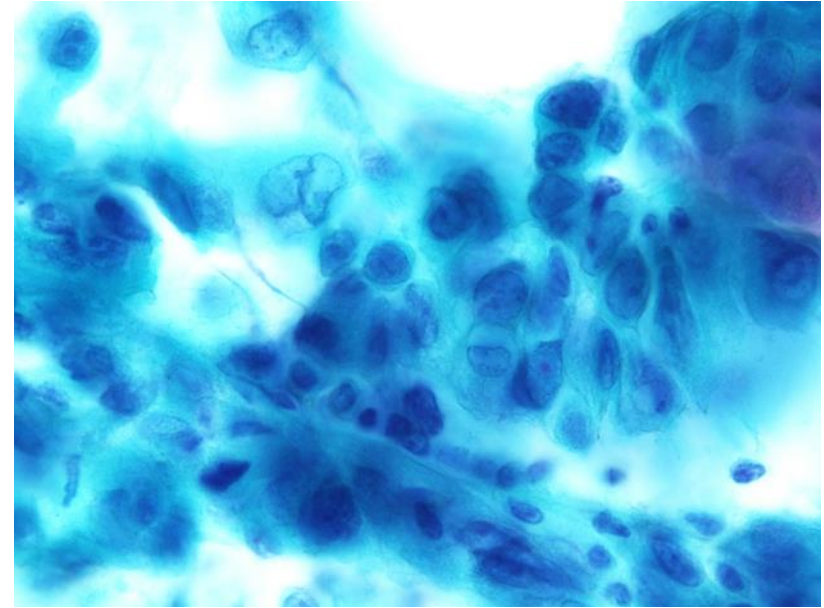
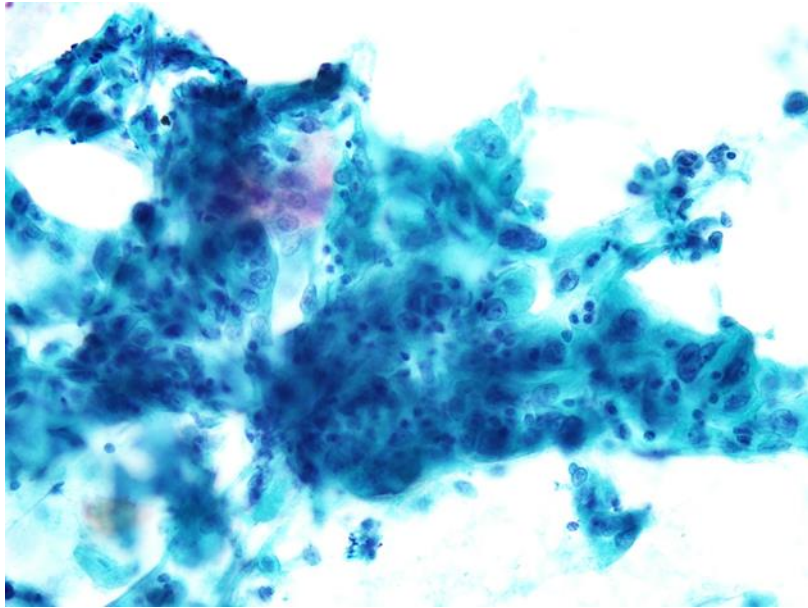
3-1



3-2



## 設問3



正解 : 3. 内膜腺癌 (G3)

許容正解: 4. 明細胞腺癌

他解答: 2. 子宮内膜増殖症

正解率: 96% (24/25施設)

腺管状、乳頭状の異型腺細胞集塊がみられる。核小体がみられ核の大小不同、結合の低下がみられる。類内膜癌です。

# 設問4

## 設問4

年齢・性別: 70歳代 男性

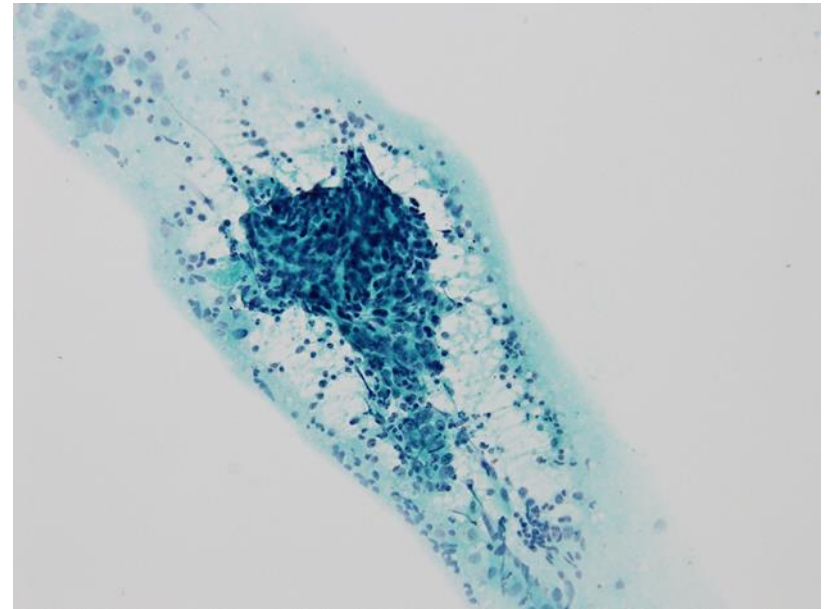
検体 : 経気管支生検 捺印

臨床所見 : 肺門部腫瘍

写真 : 4-1 Pap × 20 4-2 Pap × 40

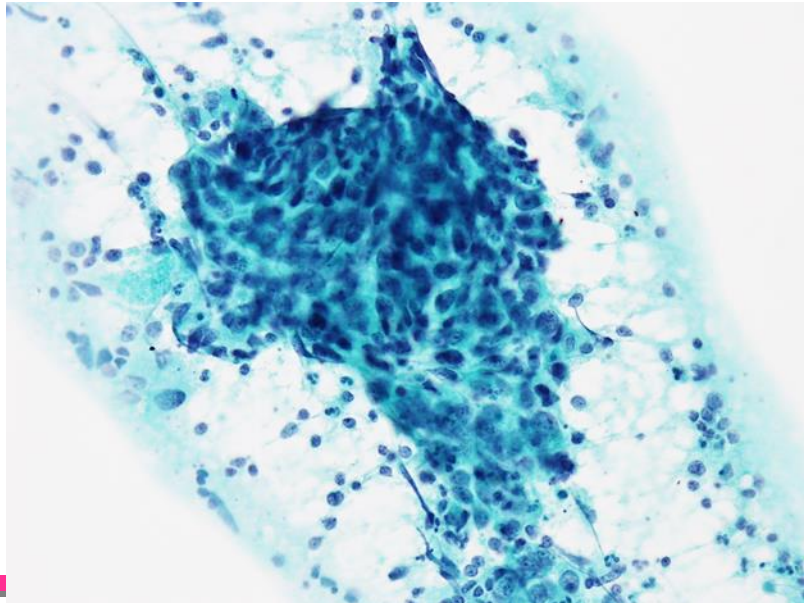
4-3 Pap × 100

1. カルチノイド 2. 小細胞癌 3. 悪性リンパ腫  
4. 非角化型扁平上皮癌 5. その他

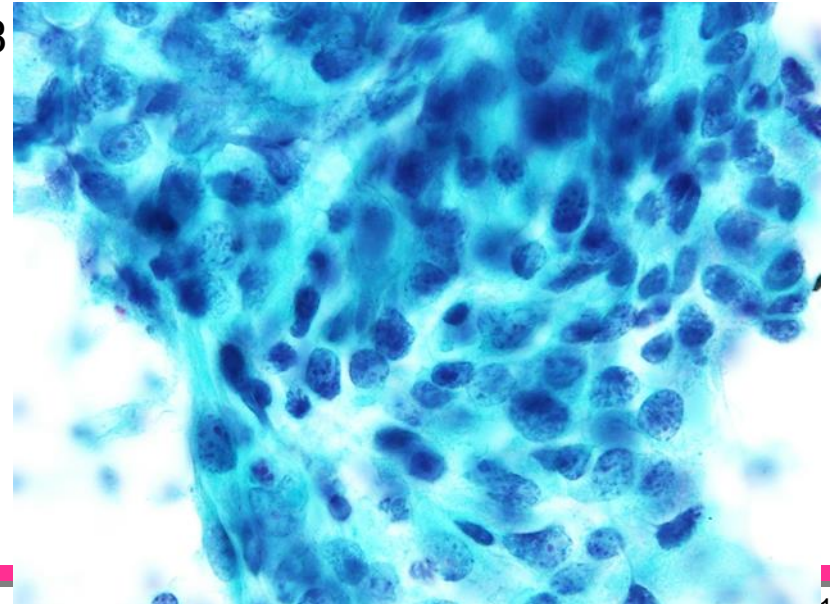


4-1

4-2

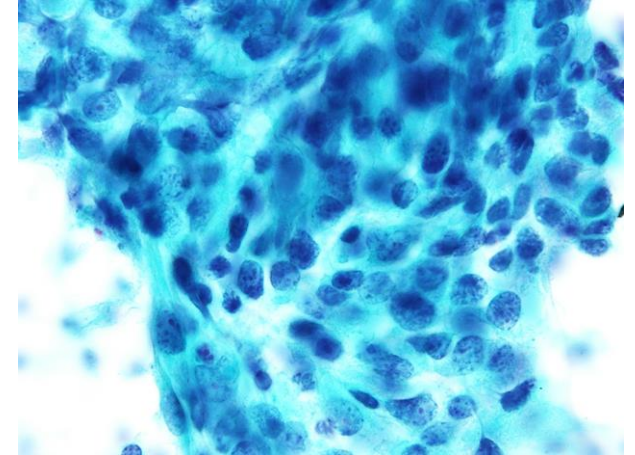
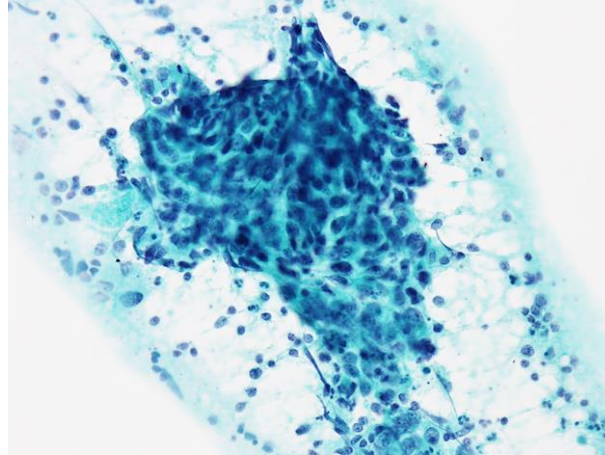
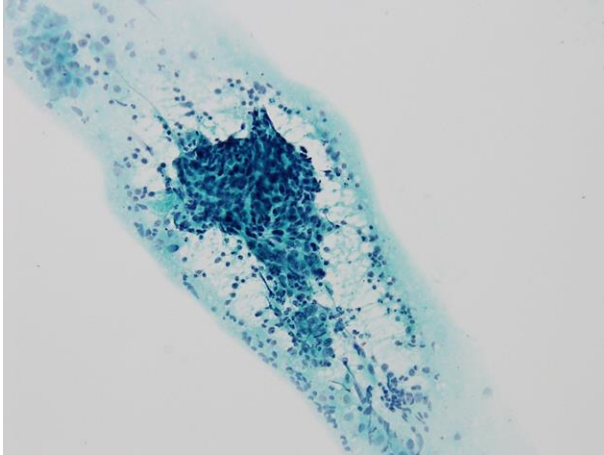


4-3





## 設問4



正解 : 4.非角化型扁平上皮癌

他解答:1. カルチノイド

正解率:96%(24/25施設)

角化は認められず、類円形から多稜形を示し、顆粒状のクロマチンみられる異型細胞が集塊または孤在性にみられる。楕円形核の異型細胞が長軸方向に沿って、一定方向に流れるような配列を示す集塊を認める。

## 設問5

年齢・性別 : 60歳代 男性

検体 : 経気管支生検 捺印

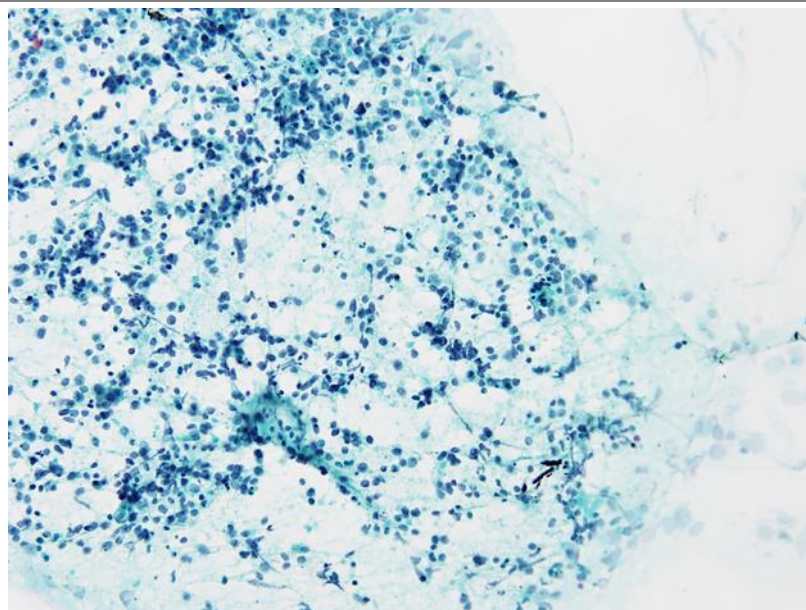
臨床所見 : 肺腫瘍

写真 : 5-1 Pap × 20 5-2 Pap × 40

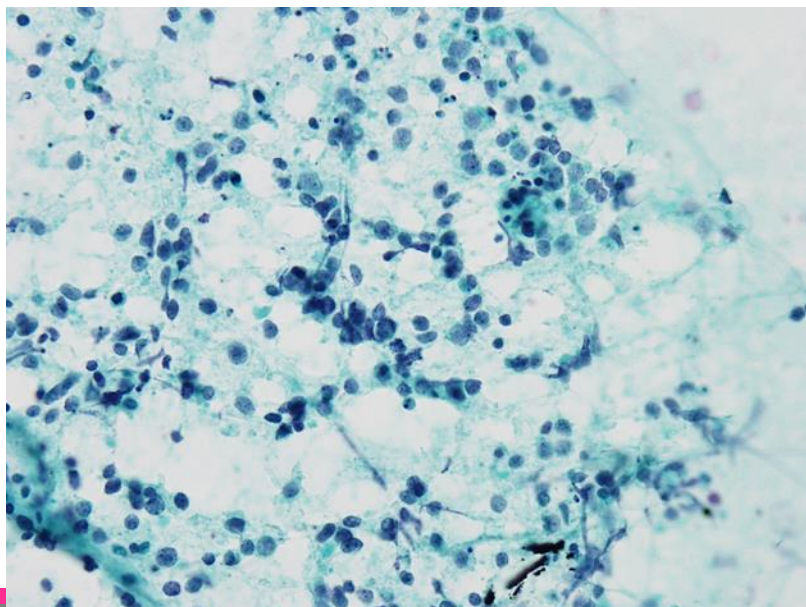
5-3 Pap × 100

1. 肺アスペルギルス症
2. 腺癌
3. 悪性リンパ腫
4. 小細胞癌
5. その他

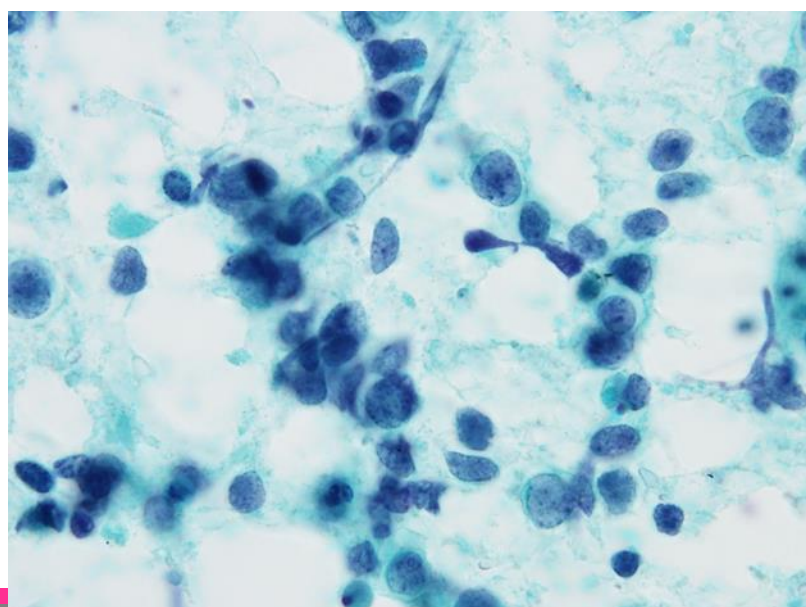
5-1



5-2

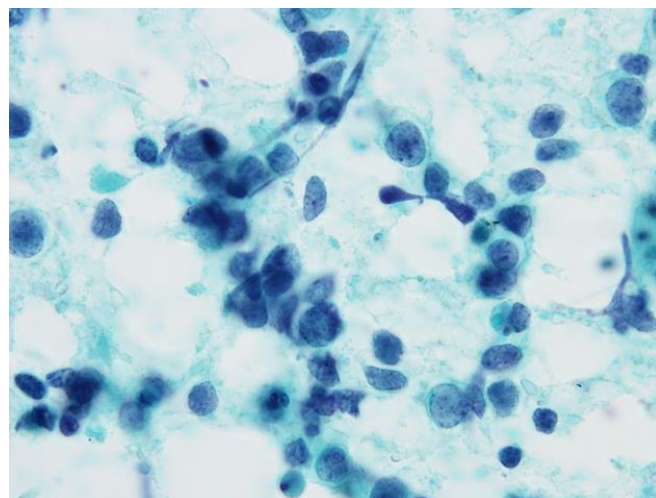
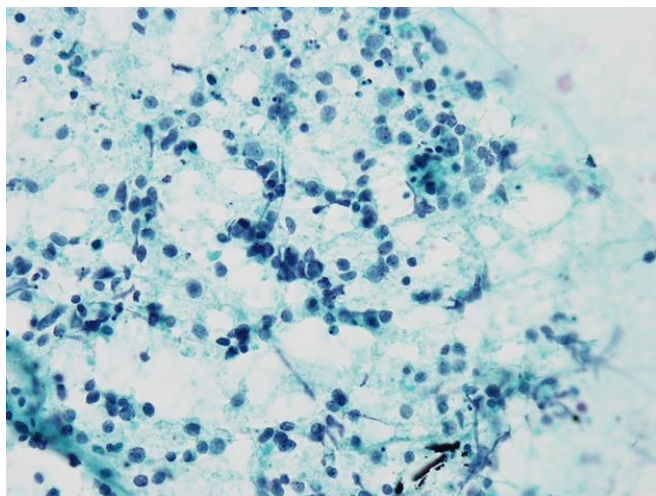
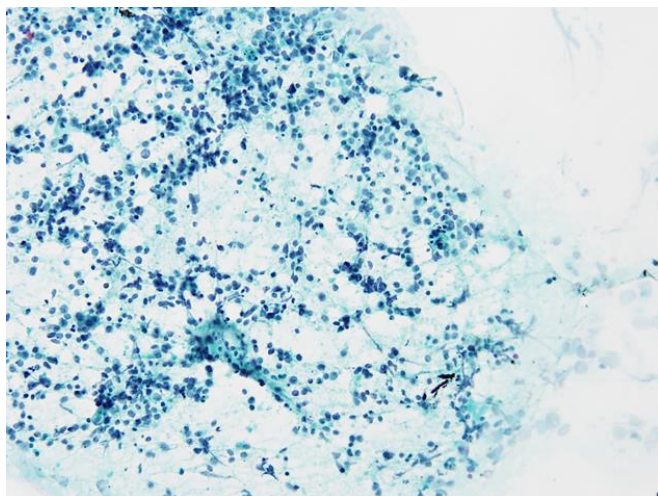


5-3





## 設問5



正解 : 4. 小細胞癌

他解答 : なし

正解率: 100% (25/25施設)

少量の細胞質を有する細胞が鑄型状に接している。軽度の核の大小不同を認める。核線がみられる。小細胞癌です。

## 設問6

年齢・性別 : 70歳代 男性

検体 : 胸水

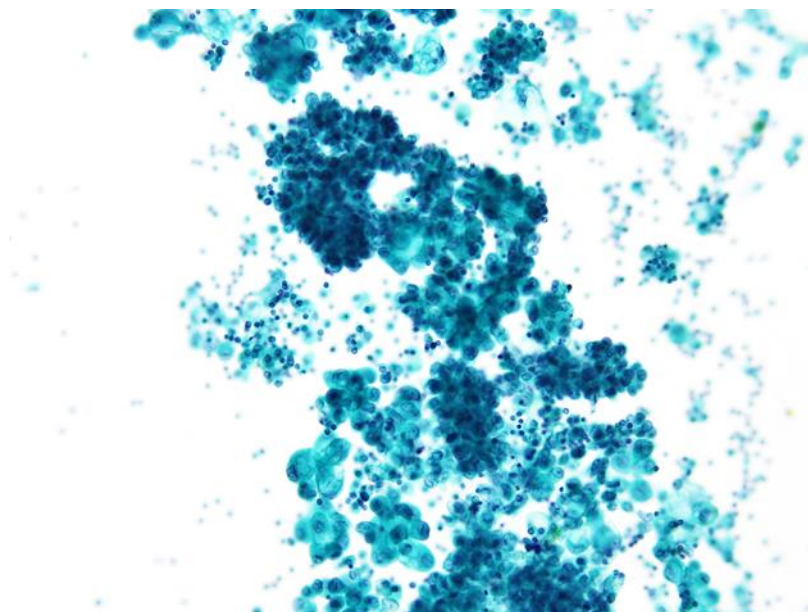
臨床所見 : 胸水 貯留

写真 : 6-1 Pap × 20 6-2 Pap × 40

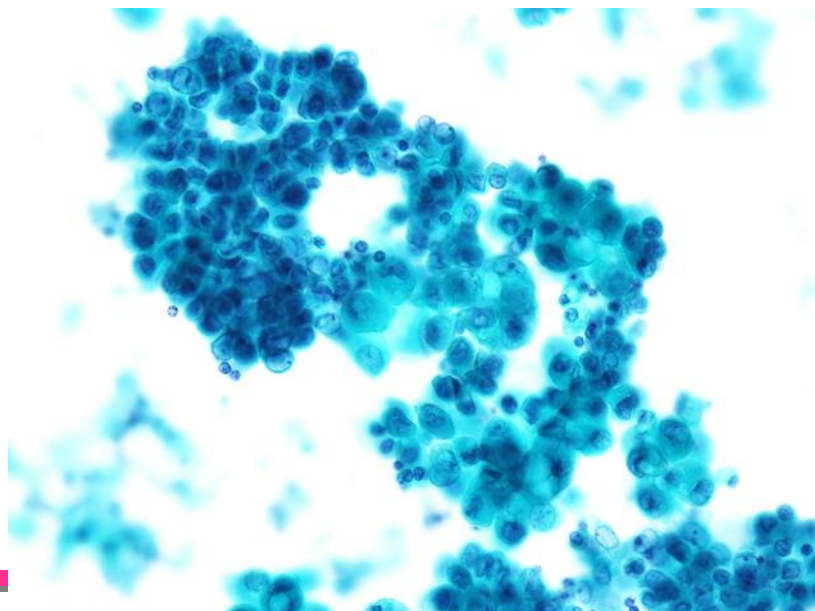
6-3 Pap × 100

1. 反応性中皮細胞
2. 悪性リンパ腫
3. 腺癌
4. 扁平上皮癌
5. その他

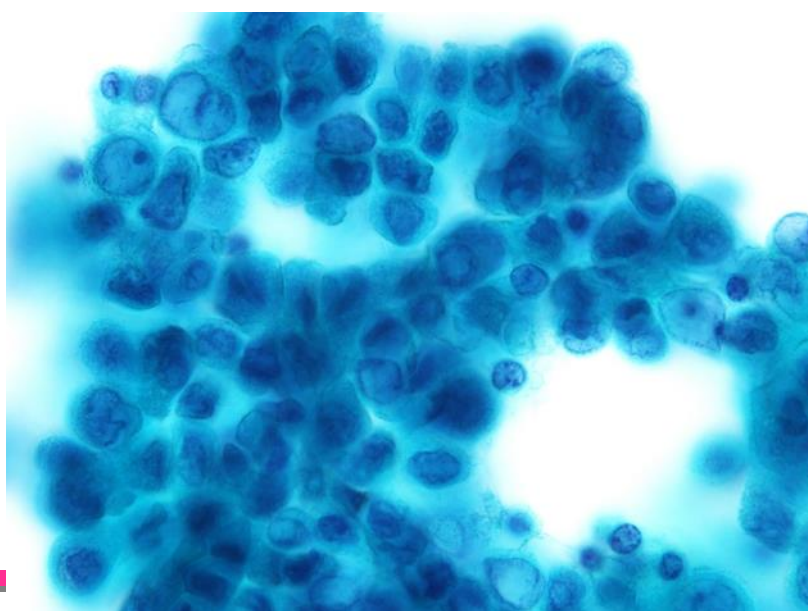
6-1



6-2

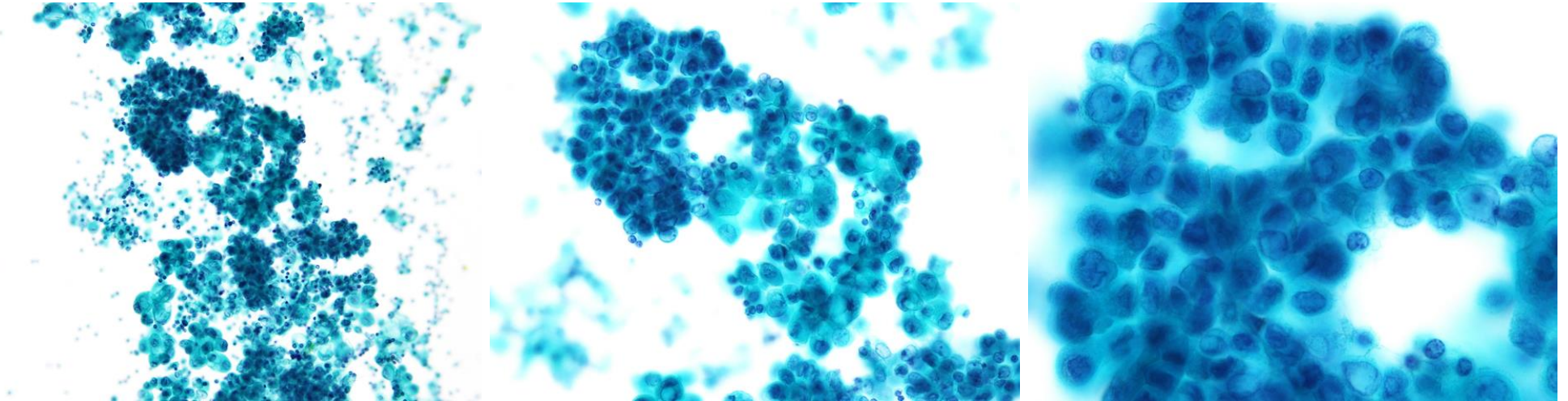


6-3





## 設問6



正解 : 3. 腺癌

他解答:なし

正解率:100%(25/25施設)

核の大小不同、核形の不整みられる異型細胞が集塊で見られる。集塊には環状構造が認められる。腺癌です。

## 設問7

年齢・性別 : 60歳代 女性

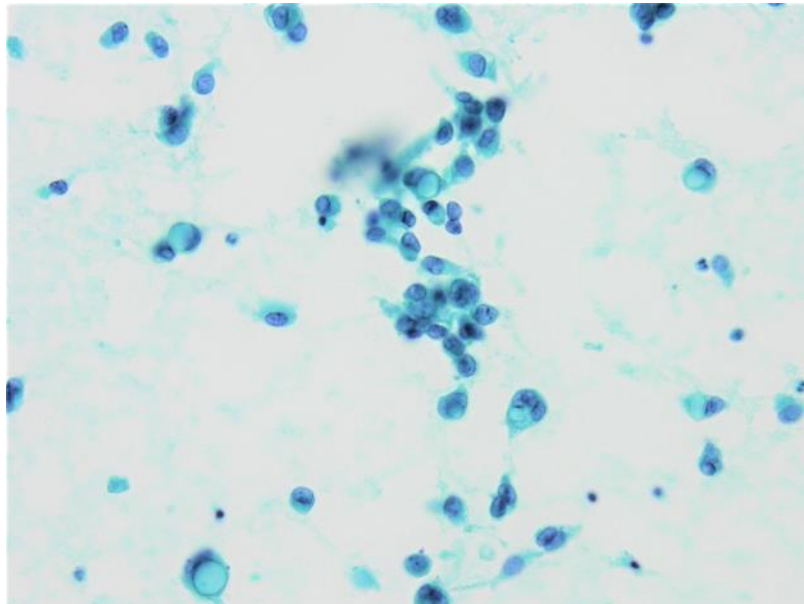
検体 : 乳腺穿刺吸引

臨床所見 : 乳腺腫瘤

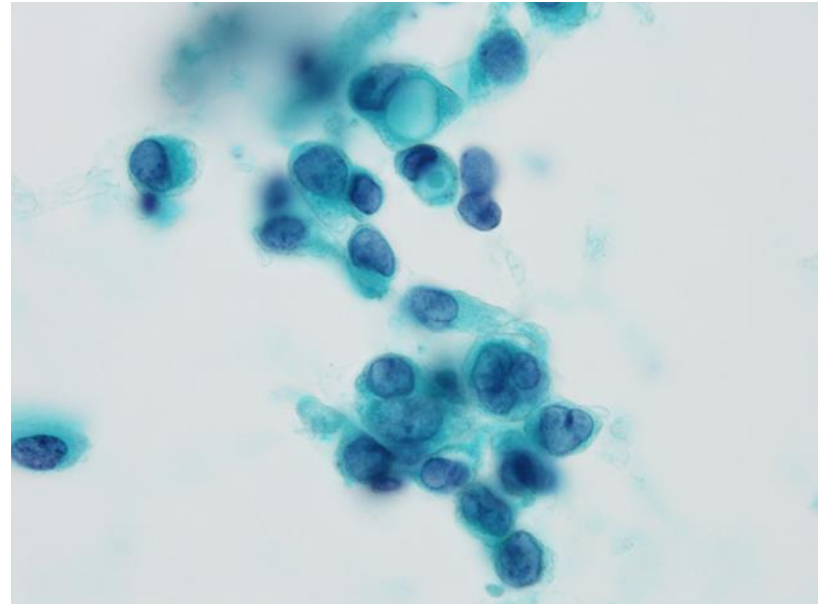
写真 : 7-1 Pap × 40 7-2 Pap × 100

1. 線維腺腫
2. 硬癌
3. 粘液癌
4. 悪性葉状腫瘍
5. その他

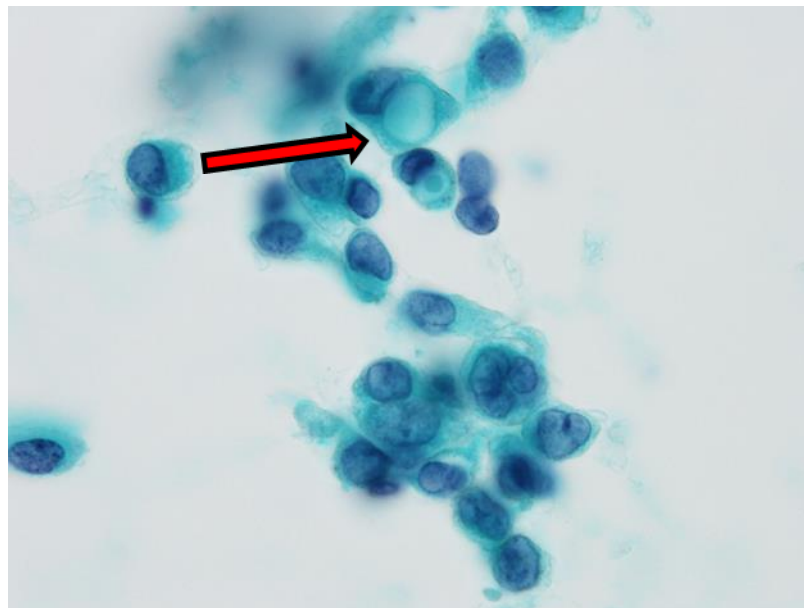
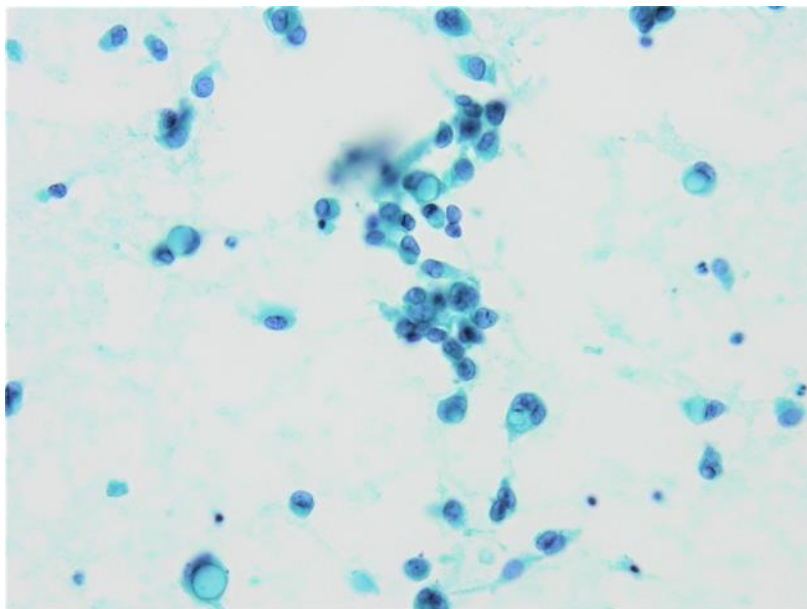
7-1



7-2



## 設問7



正解 : 2. 硬癌

他解答: なし

正解率: 100% (25/25施設)

細胞成分の出現に乏しいことも特徴である。

典型的な細胞像は、組織像を反映した細胞が1列に並ぶ、鑄形状の線状配列に代表される。細胞核は圧排傾向を示し木目込み状に配列することが多い。

細胞質内小腺腔(ICL)を認める



## 設問8

年齢・性別 : 60歳代 男性

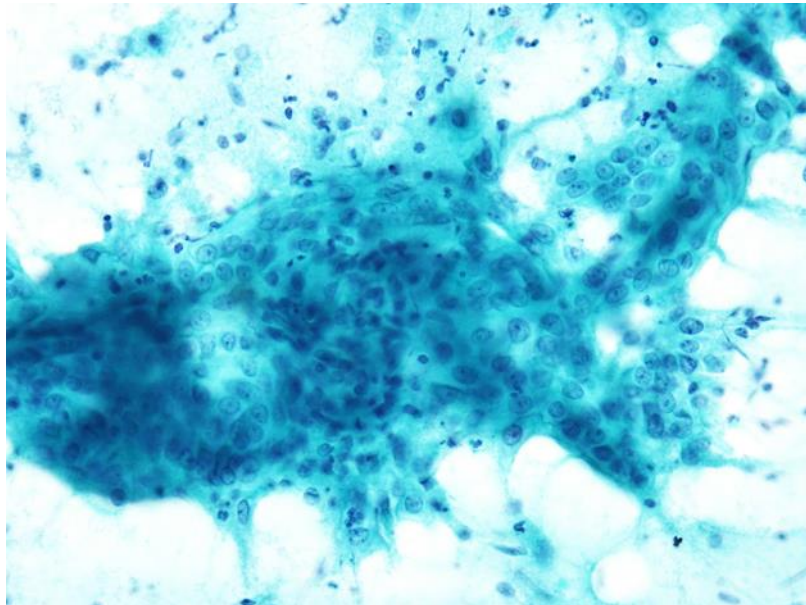
検体 : 膵穿刺

臨床所見 : 膵臓腫瘍

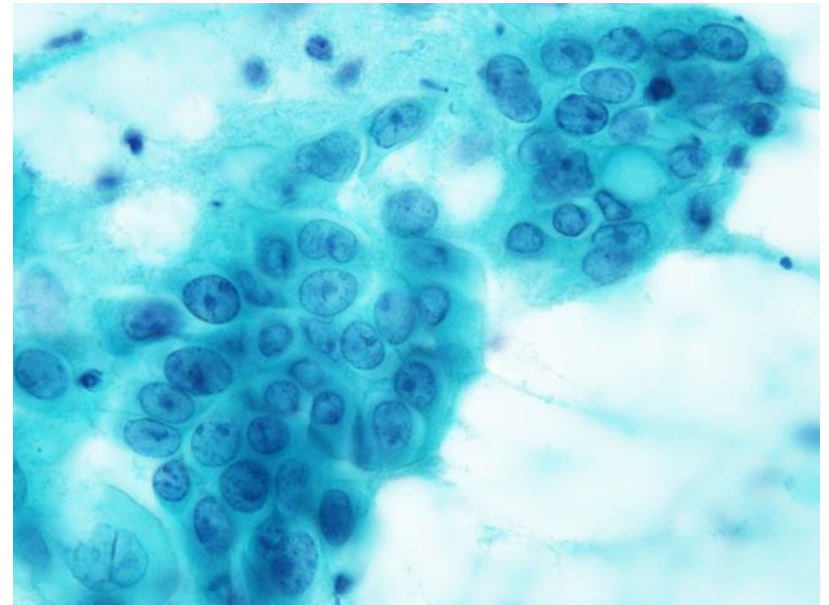
写真 : 8-1 Pap × 40 8-2 Pap × 100

1. 慢性膵炎
2. Solid-pseudopapillary neoplasm
3. 腺癌
4. 腺扁平上皮癌
5. その他

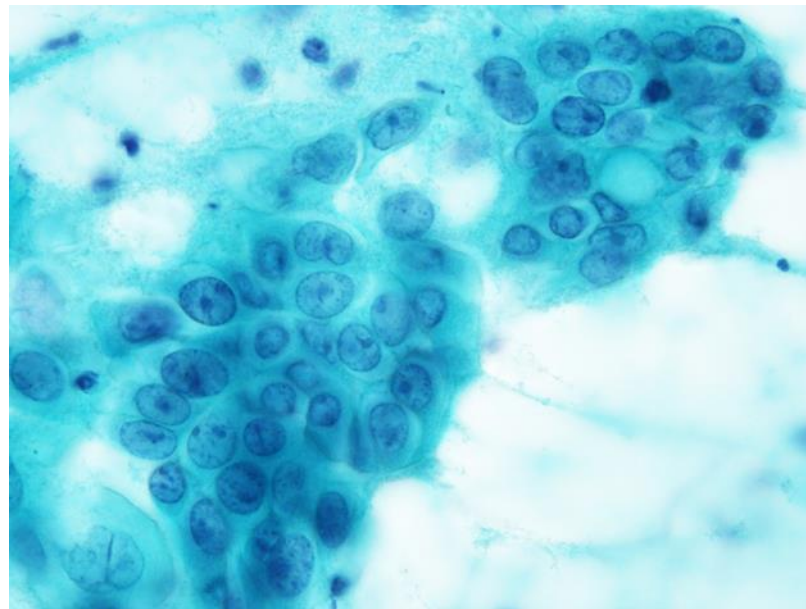
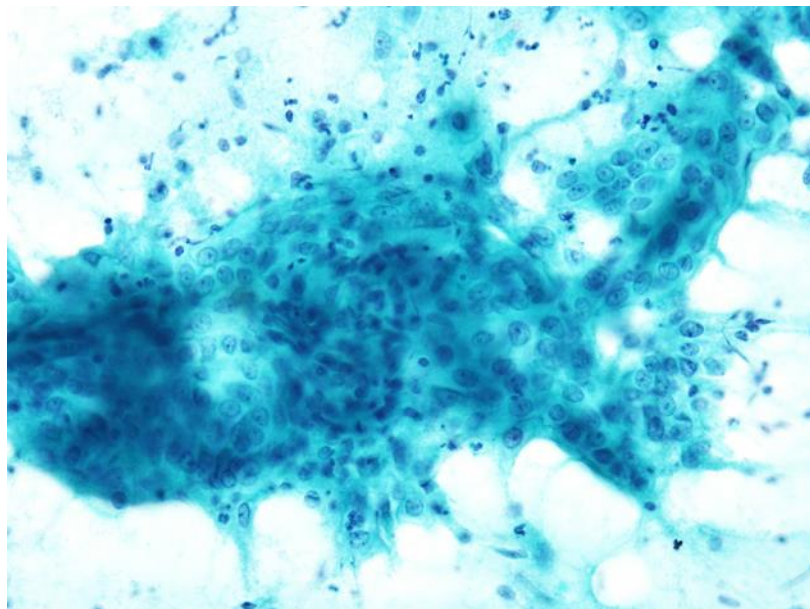
8-1



8-2



## 設問8



正解 : 3. 腺癌

他解答:なし

正解率:100%(25/25施設)

核クロマチン増量し、核小体明瞭な異型細胞が集塊で見られる。管状構造が見られる。腺癌である。

小型～中等度大の集塊で出現することが多く、集塊内での細胞配列の乱れ、核の大小不同性と細胞質辺縁からの核の突出などが重要な所見であるが、核クロマチンや核小体の所見は他の腺癌同様である。

## 設問9

年齢・性別 : 50歳代 女性

検体 : 甲状腺穿刺吸引

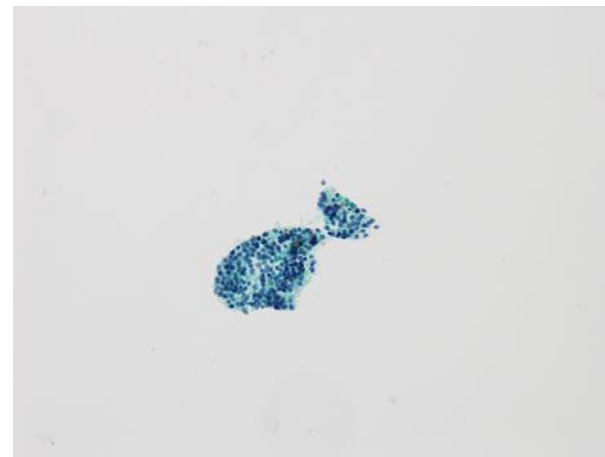
臨床所見 : 甲状腺腫瘍

写真 : 9-1 Pap × 20 9-2 Pap × 40

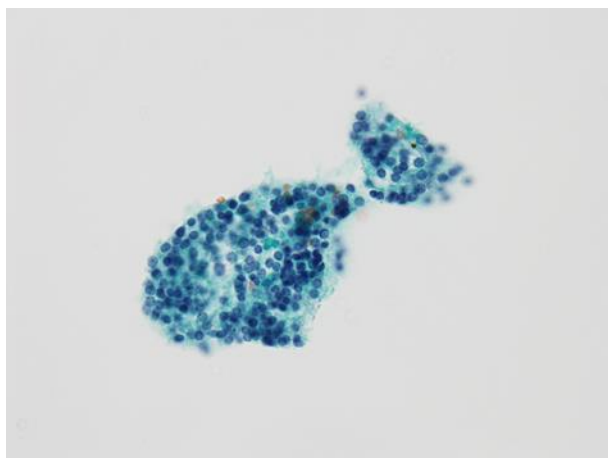
9-3 Pap × 100 9-4 Pap × 100

1. 亜急性甲状腺炎
2. 濾胞性腫瘍
3. 乳頭癌
4. 悪性リンパ腫
5. その他

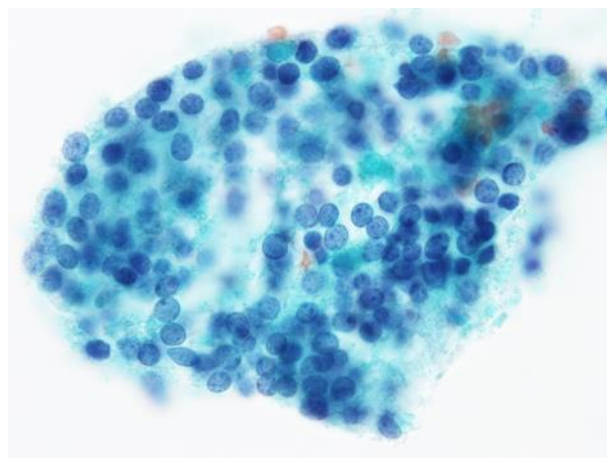
9-1



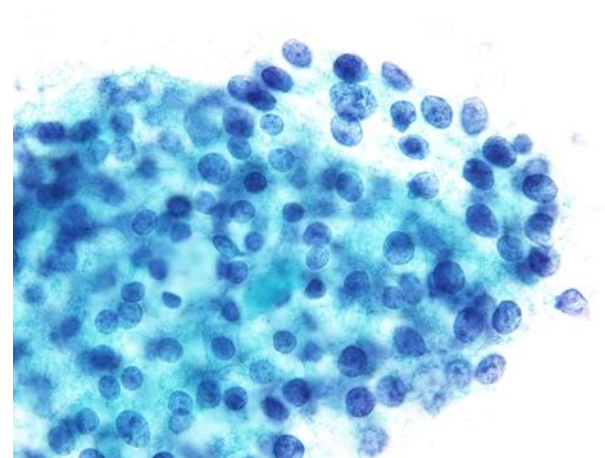
9-2



9-3

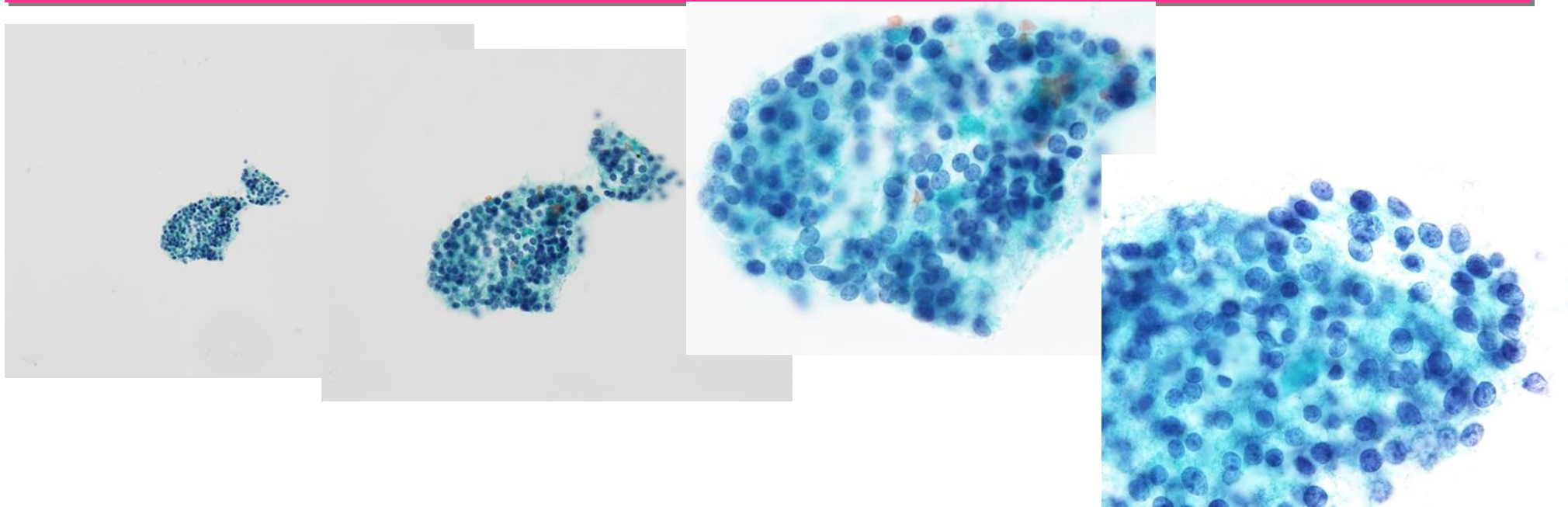


9-4





## 設問9



正解:2. 濾胞性腫瘍

他解答: なし

正解率: 100% (25/25施設)

単一な細胞からなる小～中型の濾胞状構造がみられる。背景にコロイドや炎症細胞はみられない。核は円形でほぼ同大でやや立体的に配列している。細胞質は淡染性で、細胞境界は不明瞭である。

## 設問10

年齢・性別: 60歳代 男性

検体 : 陰嚢水

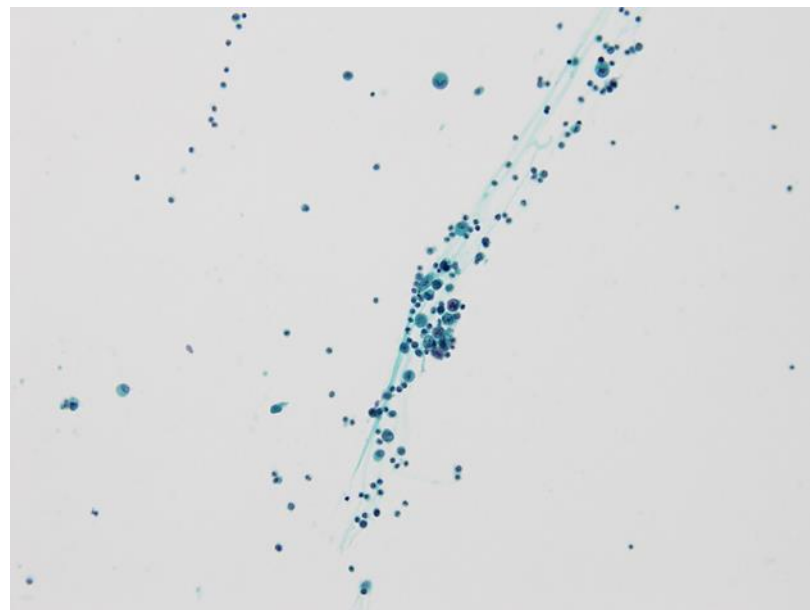
臨床所見 : 陰嚢水 貯留、陰嚢腫瘍

写真 : 10-1 Pap × 20 10-2 Pap × 40

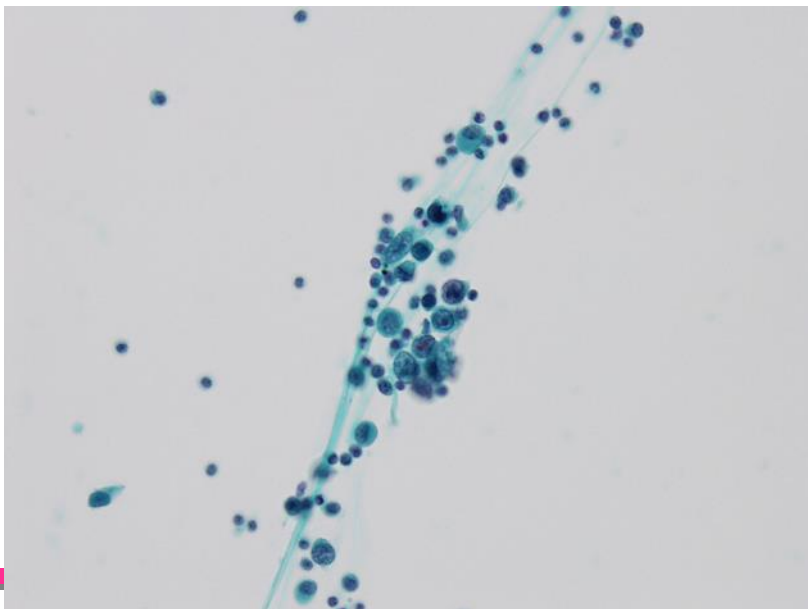
10-3 Pap × 100

1. 結核性精巣上体炎
2. 胎児性癌
3. セミノーマ
4. 悪性リンパ腫
5. その他

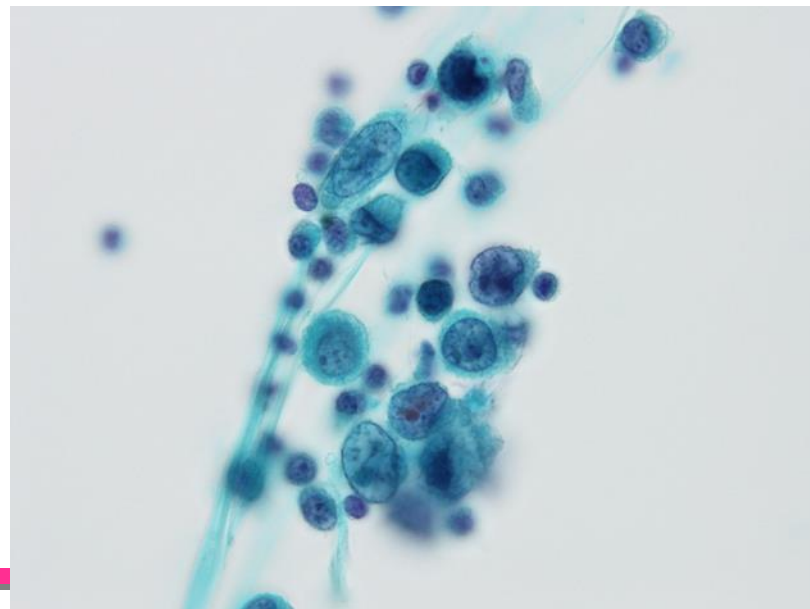
10-1



10-2

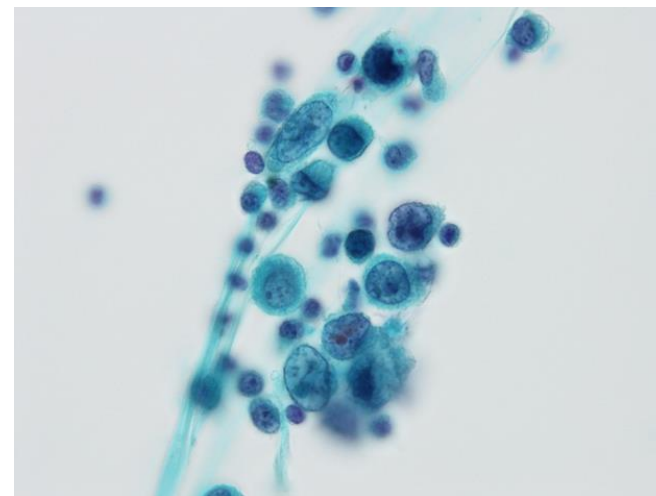
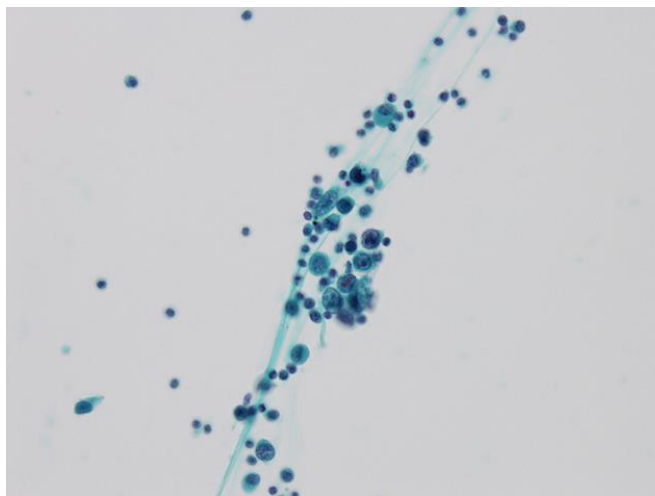
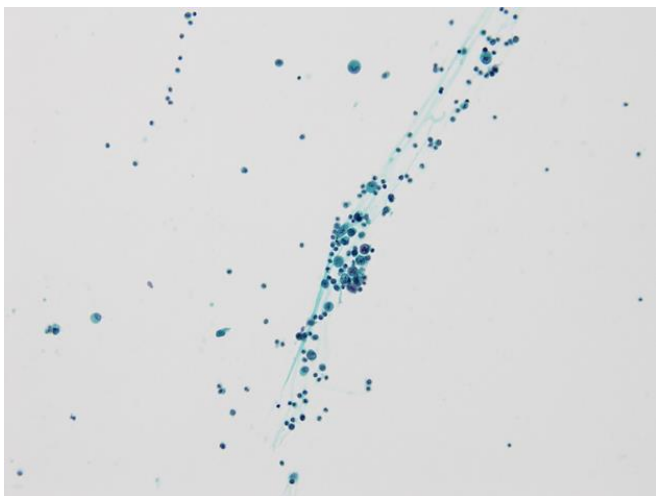


10-3





## 設問10



正解 :3. セミノーマ

他解答:4. 悪性リンパ腫

正解率:96%(24/25施設)

明るく抜けた細胞質をもった大型の細胞がリンパ球を背景に多数出現している。腫瘍細胞は散在性または緩い結合を示す集塊として認める。クロマチンは均一で核小体が目立つ。セミノーマである。

出現しているリンパ球に異型は見られない。

### 【今後の改善点】

コメント、ご指摘などいただき、ありがとうございました。

フォトの所見をわかりやすくし写真枚数なども調整するようにしたいと考えています。

また、悪性リンパ腫が選択肢にある時などギムザ染色を追加するなどし、判断に必要な染色をフォト集に載せていくようにしていきたいと考えています。

いただいたご意見、ご指摘を今後の設問作成やフォトの撮影に生かしていきたいと考えています。

## 【評価方法について】

平成24年度より日臨技の精度管理調査システムを使用。それに伴い評価は日臨技精度管理調査フォトサーベイ評価法(日臨技指針)に準じて行っている。

原則として参加施設の正解率80%以上の設問を評価対象とする。

原則として参加施設の正解率80%未満の設問を評価対象外とする。

(ただし、その後の審議で例外もあり得る。)

評価対象の場合は設問ごとに評価A~Dを設定。

正解:評価A、許容正解:評価B

不正解:評価C(改善の余地有)、不正解:評価D(要改善)

報告書には各設問ごとの評価、回答数、正解数(評価A+B)、正解率を記載。

# 精度管理調査結果報告(細胞検査)

## 【設問別正解率】

設問	1	2	3	4	5
最終正解率 (%)	100	100	100	100	100
是正前正解 率(%)	100	96	96	96	100

設問	6	7	8	9	10
最終正解率 (%)	100	100	100	100	100
是正前正解 率(%)	100	100	100	100	96

## 【正解率別施設数】

最終正解率(%) (正解数/設問数)	100% (10/10)
施設数	25施設

是正前正解率 (%) (正解数/設問数)	100%(10/10)	90%(9/10)	80%(8/10)
施設数	22施設	2施設	1施設



## 【まとめ】

日臨技の精度管理調査システムを使用し、設問ごとに正解を評価A、許容正解を評価B、不正解を評価Dと設定した。

参加25施設、評価対象設問10問における全体の正解率は是正処置前96%であり、最終正解率は100%であった。

設問ごとの正解率は全問90%以上であった。

## 【まとめ】

すべての設問で90%以上の良好な結果であった。

フォトの色調や見やすさなど昨年の課題は改善されたが、解答を導き出すために必要な所見や染色などフォトの内容工夫や選択肢作成が必要であると考えます。

今後の設問作成の課題である。

岐臨技精度管理調査が各施設の判定基準の確認や修正、またこれから細胞検査士を目指す方にとり一助となれば幸いです。